

かかりつけ医で心電図検査を受けたところ、不整脈が分かり、心房細動と診断されました。その後、紹介された総合病院で再検査し、「カテーテルアブレーション」という手術を勧められました。効果と合併症のリスクなどを教えてください。(73歳、男性)

心房細動

KARTE カルテ Q & A



濱岡守医師

心臓の働きは通常、電気の伝達回路を介して一定のリズムで電気信号が流れることにより、心臓の筋肉が収縮して体中に血

の心房という部屋がまとまった収縮をせず、部屋の中の血液がよどみ、血栓という血液の塊を生じて、その断片が他の臓器の動脈に詰まる塞栓症を引き起こす可能性があります。脈の乱れの程度によっては十分な心臓のポンプ機能を得られず、呼吸が苦しくなるといった心不全の症

ル(細い管)を用いた手術による治療法などが選ばれます。「カテーテルアブレーション」とは、カテーテルを血管をたどって心臓に挿入し、先端の機器で心臓の一部を焼灼(焼く)することにより不整脈を治療する方法です。心房細動では、その原因となる電気信号を封じ込

カテーテルで不整脈を治療

液を循環させるポンプの役割を担っています。今回問題となる心房細動という不整脈は、心臓を伝わる電気信号が乱れ、時に不快な動悸を感じ、またいくつかの健康上の問題を生じることがあります。まず心房細動では、心臓の中

状が出ることがあります。治療法は病気の状態に応じて選びます。薬の服用で上記のような状態を改善させる方法のほか、薬の効果は不十分な方や、薬を使った治療を行うことができない方には、「カテーテルアブレーション」というカテー

めたり、直接焼いたりすることにより治療を行います。基本的には数日間の入院を必要とします。合併症は、カテーテルを挿入した部位などで出血が起きたり、非常にまれですが、血管や心臓の一部を損傷してしまった

り、一時的に別の不整脈を引き起こしたりすることなどが挙げられます。

いずれにせよ手術に際しては、主治医の先生とよく相談し、お互いに納得した上で治療に臨むことがとても大事です。

(兵庫県医師会、濱岡守(西宮市、はまおかクリニック院長)◇第1、3、4日曜に掲載します。